広報やまこし

発行所
新潟県古志郡
山古志村役場
電話竹沢局
17 23 78

印刷所
大川印刷所

主な記事
○敬老の日
○秋の交通安全運動
○金婚者に記念品
○火事に備えて
○ゆっくりじっくり造林を
○台風に備えて
○あなたの献血で生命が救われる
○田中総理誕生に歓喜
○家屋調査にご協力を

7月の村の人口　＝47年7月末日現在＝

世帯数	1,014	
人口	4,337	(男 2,150人 / 女 2,187人)
出生	4人 (男3・女1)	死亡 1人 (男0・女1)
7月の住民移動	転入 4人 (男2・女2)	転出 5人 (男4・女1)

ゆっくりじっくり造林を
全国植樹祭を記念して

▼人工林はわずか六・六%　最近の賃金の高騰と生活様式の変化に伴なって、燃料革命ともいうべき広葉樹の不用、採草による堆肥の不使用、低生産性の田、畑の荒廃、これらの要素によって生産性の低い山に変っている現状です。村の林野面積は二千八十七ヘクタールと減少しています。新潟県の人工林率は二十二%で山古志村は大きく下回っているわけです。

▼造林は自己、郷土の財産づくり　今年も秋植造林の準備季節がやってきました。県では昭和四十五年から第二次造林推進五ケ年計画をたて、造林の拡大につとめております。

造林事業は生産までに長期を要し大変な事業です が、山への造林は近年ひん発する災害防止策の基であり、また、産業開発に必要欠くことのできない水資源の根源でもあります。

去る五月には、本県黒川村胎内平に天皇、皇后両陛下を迎えて全国植樹祭が開催され、植林の重要性を再認識したところですが、本年これを記念するため記念造林（十ヘール以上植栽）運動を展開し、緑豊かな産性の高い郷土建設の一端として、皆さんから一本でも多く植林し、この運動の趣旨、状況をご認識され、山林所有者は、自己の財産形成、ひいては郷土発展のために、ご協力をおねがいします。

▼補助制度を受けるには　造林事業については、一ケ所十アール以上三〇〇本以上植栽された方には国、県の補助制度があります。種類はいろいろありますが、おもに一般造林、階段造林の対象いろいろ多いのですが、一般造林のうち広葉樹を伐採して造林する「林種転換」、原野・造林する「原野A」、古畑・畑を造林する「原野B」針葉樹を伐採して造林する「再造林」とあります。補助金の額は、地ごしらえ等に一番困難な林種転換一番高く、原野A、原野B の順に安くなり、成樹した木を採して植える再造林が一番安くなります。

階段造林は補助金も高いが作業も困難性がありますが、作業も困難性がありますが、補助金を受けるには、税金の滞納は村民全体の不利益になります。お互いが自分のためにも、すすんで完納されるようご協力をお願いします。

台風のシーズンです
備えはよいか　わが家の防災計画

九月一日は防災の日です。今年もまた台風シーズンが近づきました。台風は、例年八、九月ごろになると日本に接近し、上陸するものが多くなり、これによって多くの尊い人命や財産が失なわれています。

豪雨、洪水など襲来による暴風、流失、がけくずれなど大きな被害の発生が予想されます。この被害を少なくするには防災関係機関の活動だけではなく、住民のふだんの準備や注意が大切です。

▼台風に備えての平素の心がけ　警報、避難命令などがどのように伝達されるか、よく確かめておく。

災害時は隣近所と協力して避難などができるよう事前に話し合っておく。

三停電に備えて懐中電灯、ローソク、トランジスタ ーラジオなどを用意しておく。

四安全な避難場所と、そこへの道順を確認しておく。

五家や施設などの補修、補強をし、溝や水路の手入れをする。

六電灯の引込線がたるんでいたり、破損していると屋根や雨どいなどにふれ漏電やスパークを起し、火災になったり、感電の危険があるので、前もって電力会社に知らせ、修理しておく。

七風で折れたり、電線にふれたりするおそれのある木の枝は切り落しておく

八プロパンガスのボンベは倒れたり、浸水のとき流されないよう安全にとめておく。

九ラジオ、テレビで気象情報や防災上の注意事項をよく聞く。

十外出や旅行はできるだけ見合わせる。

十一窓や雨戸などは、釘かすがいなどで止めるか、板をあてたりして早めに補強しておく。

十二家屋で倒れる心配のあるものは柱にすじかいをしておく。

十三看板、擁なども針金等で十分補強しておく

十四六が地の付近の人は、大雨によって地盤がゆるみがけくずれの危険があるので十分注意する。

（八月一日号参照）

▼避難するときの注意　一火の始末や戸締りを確実にする。電気はメインスイッチを切り、ガスは元栓を閉める。

二家族そろって消防、警察などの防災関係者の指示に従って避難する。

三避難の際は付け下、用ベり等はできるだけさけ、どうしても通行するときは十分注意すること。

四老人、幼児、病人等のいる家庭では早めに避難する。

五服装は行動しやすいものとし、特に風に飛ばされるような物から身を守るために頭には帽子、頭巾、ヘルメットなどをかぶり露出部分が少ない服装で避難する。

六携帯品は必要品のみとし、背負うようにする。

七切れた電線や、たれ下がった電線には絶対にふれないこと。

八浸水したら場所を避難するときは必ず長ぐつなどをはく。素足は禁物である

納税は期限内に

税金や国保保険料を納めるのを忘れているかたはありませんか……。もし、都合で決められた日までに納められなかったときでも、その日から十日以内に納めてください。それを過ぎると、督促状が発行され、一件につき二十円の督促手数料が余分にかかります。また、定期預金の利子より高い年七・三%～一四・六%の延滞金が加算されることがあります。税金の滞納は村民全体の不利益になります。お互いに税金を納めましょう。

家屋調査にご協力を
固定資産の評価替え実施

三年に一回全国的に実施している固定資産の評価替えが、今年から十二月に実施されます。

このため役場税務課の職員がみなさんのお宅を順次村胎内平に天皇、皇后両陛下を迎えて全国植樹祭が開催され、植林の重要性を再認識したところですが、本年これを記念するため記念造林（十ヘール以上植栽）運動を展開し、緑豊かな産性の高い郷土建設の一端として、皆さんから一本でも多く植林し、この運動の趣旨、状況をご認識され、山林所有者は、自己の財産形成、ひいては郷土発展のために、ご協力をおねがいします。

▼補助制度を受けるには　造林事業については、一ケ所十アール以上三〇〇本以上植栽された方には国、県の補助制度があります。種類はいろいろありますが、おもに一般造林、階段造林の対象いろいろ多いのですが、一般造林のうち広葉樹を伐採して造林する「林種転換」、原野・造林する「原野A」、古畑・畑を造林する「原野B」針葉樹を伐採して造林する「再造林」とあります。補助金の額は、地ごしらえ等に一番困難な林種転換一番高く、原野A、原野B の順に安くなり、成樹した木を採して植える再造林が一番安くなります。

本年は全国植樹祭の開催でも多く造林されるよう九月二十日まで追加申込みを受け付けますから、産業建設課までご連絡ください。

あなたの血で生命が救われる
採血車 19日に種苧原などへ

交通事故や不時の災害、まったくなしの病気に、どうしても必要なのが、キレイな血液です。人間の血液は人間の血液でないと輸血はできません。

健康なあなたの血液をたくさんの病める人、けが人しんけんに求めています。

健康なときに献血をして人を助け、万一本人や家族が病気のときには皆さんから助けられる、これが「愛の献血」の相互扶助の精神であります。

山古志村は皆さんのご協力によって毎年献血量はふえていますが、需要もまだまだどんどん増しています。五月の献血は、太田地区、竹沢地区を対象に献血車「ゆうあい号」が巡かいしました。このほかは種苧原、東竹沢地区を廻ります。

尊い生命を助けるために交通安全協会員のみなさん多くのかたの「愛の献血」に是非ご協力ください。

○献血のできる人
満十八才から六十五才迄

○採血前の健康診断
1 体重、体温測定
2 血液型の検査
3 血液比重検査
4 血圧測定
5 問診、その他

○一人一回の採血量
二百ミリリットル

この量は普通健康体であれば全然影響はありません。採血はこわいものではなく、献血後は特に安静をする必要はない。すぐ普通の作業を行ってもさしつかえありません。また酒は普通量、入浴もさしつかえありません。

○献血されたかたには
1 赤い表紙の献血手帳とバッチなどを差し上げます。これは全国共通視のなかで去る七月七日、宮中にたのも、関係の任令式を行なって、めでたく新内閣が誕生しました。

田中総理大臣は、国民注目のなかで去る七月七日、宮中にたのも、関係の任令式を行なって、めでたく新内閣が誕生しました。

このことは、新潟県としてはこのうえもない喜びであり、越後の誇将上杉謙信公でさいも果せなかった歴史的な宰相の夢を実現し、偉業を成し遂げたわけです。

少しの油断ですべてを灰に帰するおそろしさを改めて認識し「火の用心」を日ごろの生活行動として習慣づけて注意しましょう。

消防団では、万一の火災に対処するため、連日夏期訓練を実施し、八月二十五日は実戦さながらの連合消防演習を行ない日頃の訓練の成果を発揮しました。

村では新たに消防ポンプの新鋭機を泡谷に配置して貯水槽を四地区に設置して施設の充実をはかりました。

火事に備えて
日頃の心がまえ

九月は収穫のために増しにいそがしくなり、台風の危険もあり火災の起きやすい季節です。

田中総理誕生に歓喜
山古志中で祝賀会

山古志村長谷川村議会議長の挨拶と祝辞が述べられました。

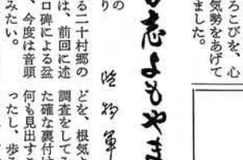
なお田中総理大臣のお礼電報披露があり、引きつゞき祝宴に移り、寄贈された美酒をかわしながら、のど自慢もあって、新潟県から総理が実現のよろこびを、心から祝福し、気勢をあげて十二時散会しました。

無理する作業は事故のもと
秋の農作業安全月間

山会県支部長および長谷川村議会議長の挨拶と祝辞が述べられました。

なお田中総理大臣のお礼電報披露があり、引きつゞき祝宴に移り、寄贈された美酒をかわしながら、のど自慢もあって、新潟県から総理が実現のよろこびを、心から祝福し、気勢をあげて十二時散会しました。

山古志よもやま



二十村の盆おどり

口碑に伝わる二十村郷の盆踊については、前回に述べたが、そのロ碑による盆踊を基として、今度は音頭唄の話をしてみたい。

この部落でも、ノド自慢がいる。その人達が自慢ことは、私も古老の人の階段を登りつつある歳だったのの美声をはりあげて、音頭をとる唄の文句は、昔、新発田藩といわれた時代の、新発田町のことが主体とされている。

そこで私は、二十村の盆踊が唄にある小栗山村が元祖であるならば、音頭唄もまた小栗山方面から生れたと解釈するのが常識と思ったので、小栗山にどうして、新発田あたりの文句が伝わったのか、小栗山方面と新発田方面のつながりなどを、根気よく聞き歩きする調査をしてみたが、これまでは、そのロ碑による盆踊の確な裏付けになるものは何も見出すことが出来なかったし、歩るいてみて、身につまされたことは、私も古老の人の階段を登りつつある歳だったことだけであった。

しかし、歴史的の調査を、小栗山方面と新発田方面とをつないでいけば次のようなことが出てくるのだ。

江戸末期に近いころの新発田藩は、貧乏になって非常に財政は苦しかった。そこで藩は財政をたてなおすには、あたらしく産業を起さねばならぬとして、塗物（ぬりもの）産業に目をつけた。漆（うるし）塗物や蝦加工の産業であった。詳細は不明であるが、残念ながら最終的には不成功に終った模様である。いづれにしても後の事から、小栗山方面と新発田方面がつながりが出来たのではないかと思われる――ということは、小栗山方面は昔から漆の木、ハゼの木が繁茂していた。漆の木に切り口をつけると、液がにじみ出す。これを「生漆」と称し、美術品塗料として最高、かつ重要であることは言うまでもない。

ありはないが、また、実（みゞ）からは、優良な蝋を採集することが出来る。生蝋を採ることが出来ることから、いわゆる「漆から職人」が沢山出ていりこんだといわれている。そうした職人が新発田方面から来て、その交流によって自然新発田方面の唄が入り小栗山方面に、この唄を盆踊唄にしたのではないか。つゞく

子どもと老人は赤信号
22日から秋の交通安全運動

こどもに交通安全教育を

さきに、国の交通対策本部において、本年度秋の全国交通安全運動実施要綱が決定し、今年は九月二十二日から十月一日までの十日間、全国一斉に実施することになりました。

県においても、国の実施要綱に基づいて、本県の実情に即した実施要綱を定めることになりました。

この運動を積極的に推進する実施要綱の概要はつぎのとおりです。

○運動の重点
歩行者事故、とくにこどもと老人の事故を防止するため、つぎの施策を中心に徹底して実施する。

①スクール・ゾーンの定着化・ゾーン小学校・保育所などを中心としたスクールゾーン未設定地域の設定と既存のもの、再検討などその整備充実をはかる。

②交通安全指導の強化
(ア) こどもと保護者については、母親ぐるみの指導を重点的に行ない、とくに通学路における安全の確保と帰宅後の交通事故防止についての指導し、その徹底をはかる。

(イ) 老人については、正しい歩行と自転車利用についての指導を重点的に行なう。

(ウ) 運転者については、こどもと老人の保護意識を高めて、安全運転の励行を徹底させる。

○運動のすすめかた
とくに交通安全指導のために、学校を中心とする交通安全教育の指導内容の強化、指導者研修の開催、保護者との連絡を密に、こどもとの連絡に幼児に対する効果的な安全指導を行なう。

地域活動としての交通安全教育については、関係各組織が連携して、地域ぐるみの組織づくりを推進すると共に、交通環境の総点検、交通安全パトロール街頭指導等の活動を積極的に実施し、とくに交通指導員等交通安全指導に従事する者のさらに一層の強化をはかる。

また全日本交通安全協会でもこの運動に呼応して、二輪車運転者総ヘルメット冠帽運動、酒気および運転の防止運動および交通の方法夫婦に関する教則の一般家庭への普及を重点事項として、積極的にすゝめることになっています。

交通事故による死者は、全国的には減少しています。

しかし、本県では依然増加傾向を示し、七月二十一日、その数は二百人を突破して、昨年よりも三日早くなっています。お互に交通安全に心がけ、また注意し、事故の防止に努力しましょう。

危いよ!!
事故防止にひとことを
おとうさん
お酒のむならのらないで
毎月第二日曜は
家族みんなで
話しあおう

家屋調査にご協力を
固定資産の評価替え実施

三年に一回全国的に実施している固定資産の評価替えが、今年から十二月に実施されます。

このため役場税務課の職員がみなさんのお宅を順次村胎内平に天皇、皇后両陛下を迎えて全国植樹祭が開催され、植林の重要性を再認識したところですが、本年これを記念するため記念造林（十ヘール以上植栽）運動を展開し、緑豊かな産性の高い郷土建設の一端として、皆さんから一本でも多く植林し、この運動の趣旨、状況をご認識され、山林所有者は、自己の財産形成、ひいては郷土発展のために、ご協力をおねがいします。

▼補助制度を受けるには　造林事業については、一ケ所十アール以上三〇〇本以上植栽された方には国、県の補助制度があります。種類はいろいろありますが、おもに一般造林、階段造林の対象いろいろ多いのですが、一般造林のうち広葉樹を伐採して造林する「林種転換」、原野・造林する「原野A」、古畑・畑を造林する「原野B」針葉樹を伐採して造林する「再造林」とあります。補助金の額は、地ごしらえ等に一番困難な林種転換一番高く、原野A、原野B の順に安くなり、成樹した木を採して植える再造林が一番安くなります。

本年は全国植樹祭の開催でも多く造林されるよう九月二十日まで追加申込みを受け付けますから、産業建設課までご連絡ください。

田中総理誕生に歓喜
山古志中で祝賀会

田中総理大臣は、国民注目のなかで去る七月七日、宮中にたのも、関係の任令式を行なって、めでたく新内閣が誕生しました。

このことは、新潟県としてはこのうえもない喜びであり、越後の誇将上杉謙信公でさいも果せなかった歴史的な宰相の夢を実現し、偉業を成し遂げたわけです。

少しの油断ですべてを灰に帰するおそろしさを改めて認識し「火の用心」を日ごろの生活行動として習慣づけて注意しましょう。

消防団では、万一の火災に対処するため、連日夏期訓練を実施し、八月二十五日は実戦さながらの連合消防演習を行ない日頃の訓練の成果を発揮しました。

村では新たに消防ポンプの新鋭機を泡谷に配置して貯水槽を四地区に設置して施設の充実をはかりました。

火事に備えて
日頃の心がまえ

九月は収穫のために増しにいそがしくなり、台風の危険もあり火災の起きやすい季節です。

警察官募集中

一事業期間
九月二十五日まで

二申込先
警察署または駐在所

三採用資格
第一次 十月一日
場所 長岡工業高校
第二次 十一月上旬
日時、試験場は一次試験の結果により通知
四採用 四十八年四月一日
五資格
満十八才以上二十八才未満の男子
高校卒程度以上の学力あるもの

六その他
詳細のことや不明点は、最寄りの駐在所または警察署へお問い合わせください。

敬老の日　七百六十八名

「敬老の日」が制定されて七年目を迎えました。

この日は明治、大正、昭和と、それぞれ社会のためにつくされたおとしよりをいたわり、はげまし、長寿をお祝いいたしましょう。

この日を記念して七十五才以上（明治三十年九月十五日以前に生れたかた）のおとしより百五十三名に、県知事からお祝いのお菓子が贈られます。

小川さん

また、このたび健康で、めでたく満九十才を迎えられた小川ヤスさん（種苧原・与一方）に、県知事からお祝状と記念の高級座布とんが贈られます。

山古志村で満九十才以上の長寿のかたは、小川さんのほか、木籠の上田コマさん（満九十二才）、虫亀の石原広蔵さん（満九十二才）の二名です。

さらに今年満八十才を迎えられた次の八名には、村独自になった社会福祉協議会から記念品の毛布が贈られることになっています。

種苧原　（敬称略）
小川　タケ（竹治方）
風間栄太郎（栄助方）
坂牧　ミナ（兼定方）
虫亀
長島　ワカ（三三九方）
斎藤　キノ（正助方）
竹沢
小池賢次郎（三治方）
高野　トイ（清平方）

東竹沢
松井　タマ（三三九方）

現在、おとしよりの数は七十才以上で三百四十六名（男百五十名・女百九十六名）、六十才以上になると、七百六十八名となります。これは山古志村総人口の一七・七%にあたり、これらのかたが敬老の日を迎えられるわけで、家族、親類、縁者をはじめみなさんの祝福を受けられることを心からお祝い申し上げます。

とし老いると、とかく孤独になり、さびしくなり勝ちな生活を明るくゆたかにするためには、いつまでも家族の一員としてあたゝかいたわりましょう。

社会的にも、家庭的にも長い苦難な時代をのりこえて、わたくしたちの今日の基礎を築いてくれた人たちなのです。すべてのおとしよりがこれからも健康で明るくゆたかな生活ができるよう「敬老の日」を機会に社会環境を整備し、それぞれの家庭において、おとしより自身が幸福な毎日がすごせるよう努力されることを念願します。

むつまじく五十年
金婚者に知事から色紙を

ことしの金婚夫婦は、大正十年四月から十一年三月までに結婚されたかたで、共にご健康なかたは別表のとおりです。この七組のご夫婦には県知事から祝いの色紙が贈られます。

戦前、戦後を通して苦しい時代のなかで、仲むつまじく、子孫の繁栄のために努力された五十年の歳月は、あっという間に過ぎ去ったと思います。

ご本人は勿論ご家族をはじめ皆さんのお喜びはこの上もないことと思います。

ほんとうにおめでとうございます。いつまでも健康で長寿されるよう、願ってやみません。

昭和47年度 金婚式夫婦名簿

夫婦氏名	生年月日	結婚年月日	職業	部落名
長島 熊蔵	明30.12. 1	大10. 9. 3	農	虫亀
〃 シノ	明25. 7.30			
長島 政吉	明26. 3.20	大10. 9.13	〃	虫亀
〃 ハル	明33. 2.12			
長島 長太郎	明28. 1.14	大10.11.21	〃	虫亀
〃 リノ	明35. 7.10			
長島 藤八	明34.12.10	大11. 1. 3	〃	虫亀
〃 フサ	明34. 4.29			
長島 太郎吉	明28. 8.22	大11. 1.28	〃	虫亀
〃 ヨト	明32. 9.20			
藤井 友平	明28. 3.19	大11. 3. 5	〃	梶金
〃 ヒデ	明38. 3.16			
松井与喜太郎	明26.10. 2	大11. 3. 6	〃	木籠
〃 ハツ	明32.12.30			

お知らせ

ど内容は豊富で、使って便利になっています。

希望者は区長を通して、企画係へ申込んでください。

価格　一冊　百二十円
（総務課）

▼四十八年用お年玉はがき　新年用お年玉つき年賀はがきの意匠、発売日等は次のとおり決まりました。

寄付金なし十円は梶と杯。

寄付金なし十円は、十三億八千枚、発売日は、十一月六日、抽せんは新年の一月十五日。（郵政局）

▼くすりの正しい知識を　新潟県民健保健所では、このたび医薬品をはじめ食品添加物、農薬など正しい知識を身につけて、健康な毎日をすごすために、申込みによる出張講座を開きます。講座は家族計画グループ、青年・婦人学級その他暮しの研究グループなどで相談のうえ、お申込み下さい。

講師は保健所薬事衛生指導員があたります。

申込みの方法は、グループと世話人のなまえ、とこの人数、講座の場所と日時、きょうい内容などを、ハガキ、または電話によって講座を受けたい二週間前までに、保健所または役場へお申込みください。（住民課）

▼母性貧血検査の実施　将来母となる女子の思春期からの貧血予防対策をすゝめることによって、貧血からくる妊産婦の死亡や、先天性異常児の減少をはかり、健康な人づくりに寄与することを目的として、このたび別表の日割によって検査と指導を実施します。

対象者は必ず受けられるよう、おしらせします。

対象者は、中学生、結婚適令者、婚約者、新婚者、妊婦、その他三十五才までの一般母性になっています。

なお検査は、新大公衆衛生学教室に依頼し、この結果により、中学生、結婚適令者、婚約者、新婚者、妊婦、一般母性については、保健婦による出張講座を中心にして指導と相談を受けることになっています。（住民課）

母性貧血検査実施計画

実施月日	実施会場	時間	実施予定人	対象者	従事者 医師	保健婦	事務
9月4日	虫亀出張所	9:00～9:30	14	結婚適令者	佐藤	保健所（青木）村（五十嵐）	星野
	竹沢診療所	11:00～12:00	23	新婚者	小川	〃	〃
	種苧原出張所	13:30～14:30	16				
9月7日	山古志中学校	9:00～11:00	100	中学生	佐藤	〃	〃
	種苧原中学校	13:30～14:00	52	〃	小川	〃	〃
	種苧原小学校	14:00～15:30	68	一般母性			
9月12日	東竹沢出張所	9:00～10:00	25	一般母性	佐藤	〃	〃
	竹沢小学校	11:00～12:00	45			〃	〃
	池谷小学校	13:30～14:00	26			〃	〃
	虫亀出張所	14:30～15:30	49			〃	〃